

令和1年11月20日発行

年末調整のお知らせ

今年も年末調整の時期が迫って参りました。つきましては、11月中に下記の書類をご用意頂き、各担当者までご連絡もしくはご郵送頂きます様お願い致します。

【控除証明書等】

- **生命保険料** 控除証明書
 - **個人年金保険料** 控除証明書
 - **介護医療保険料** 控除証明書
 - **地震（損害）保険料** 控除証明書
 - 小規模企業共済等掛金の支払を証する書類
 - 住宅取得等特別控除申告書 及び 借入金の年末残高等証明書
 - **社会保険料（国民年金保険料）** 控除証明書
 - **国民健康保険料**
 - **後期高齢者医療保険料**
 - **介護保険料**
- 本年中の支払額をご連絡ください。
メモ又は納付書等の写しで結構です。

【中途就職者がおられる場合】

- 前職の令和元年分源泉徴収票

【変更の有無】 ※下記に該当する際は、メモ等にてその旨ご連絡ください。

- 扶養親族の増減
- 住所変更
- 配偶者（特別）控除を受けられる方は配偶者の令和元年分所得 **配偶者の給与収入が、201万6千円未満であれば控除の可能性がります。**

【マイナンバーについてのお願い】

税務関係書類にマイナンバーの記載が必要となります。

訪問時や来訪時にコピーを回収させていただきます。マイナンバーの提出がまだの方は、速やかに担当者までご連絡下さい。

※通知カード若しくは個人番号カードの現物の郵送はお控えください。

まもなく突入する次世代のモバイル通信方式「5G」

5Gの「G」とは「Generation（世代）」の頭文字で、「第5世代移動通信システム」と訳されます。まずは、これまでの移動通信システムの移り変わりを振り返ってみます。

1G(1980年代) … 初めての携帯電話が登場。重量は重く通信料も高額でビジネスユースが大半。

2G(1990年代) … アナログ回線からデジタル回線に代わり、Eメールや初期のモバイルサイトが誕生。

3G(2000年代) … 地域ごとに枠組みの違った移動通信技術を国際規格化。スマートフォンで最初に実装。

4G(2010年代) … 大幅に高速化、スマートフォンでの動画閲覧、リアルタイムな位置情報更新が可能。

では、次の世代の到来によりどう変わっていくのでしょうか。

・ 現行4Gの最大100倍となる「超高速大容量通信」

4Gで10秒かかるデータ通信も、5Gであれば0.1秒未満で終わってしまいます。

これにより待つ時間が今よりも大幅に減り、膨大なデータ通信にも耐えることができ、現在よりもさらに快適に通信が利用できます。

・ 通信による時間のずれが0.001秒しかない「超低遅延」

通信速度が向上すれば、送信と受信を繰り返すときに生じる遅延も短くなります。遅延が短くなればデータをリアルタイムで送受信できるようになります。

・ 100万台/km²の機器に接続できる「多数同時接続」

一定の範囲においてインターネットに接続できる端末の数が10倍になります。同時接続数が大幅に増えるということは、今よりもさらにモノがインターネットに接続するIoT（Internet of Things）を強力に進めることになり、インターネットに接続しないと私たちの生活が成り立たないところまでIoTが普及すると考えられます。



これらの進化により、ただ通信速度が速くなったり、容量が増えるだけではなく、不可能だったことが可能になっていきます。

例えば、**自動運転システム**は、一瞬の遅延が命取りになるため、現在の通信技術ではまだまだスペック不足と言われています。5Gの実用化は、より高精度かつ低遅延が求められる自動運転システムの確立に寄与するとされています。また、医師がロボットアームを使い、離れた場所からでも手術ができる「**遠隔手術**」にも対応できるようになり、ビジネスにおいても作業効率が向上するだけでなく、遠隔で作業が可能となるため、**リモートワーク**も一気に広がっていきます。特に大きく進化していくのではないかと考えられているのが、ドローン市場で、例えば人手不足が深刻な農業の分野では、5G対応のドローンを使った「**スマート農業**」に期待が集まっています。現在の農作物の状態や害獣・害鳥の接近などを離れたところからでも確認できるようになり、農薬の散布もルート指定してプログラミングすれば、自動化かつ最適化することができます。

上記はごく一例ですが、このように5Gが私たちの生活に入り込むことで、あらゆる可能性が無限に広がっていくことが分かります。通信技術の革新によって我々の暮らしがより快適になることも期待されます。